

令和3年度事業計画書

最初に新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の発症が確認された日から1年以上が経過した今でも、日本全国でその驚異的な感染力に警戒を強めている状態です。新型コロナの影響は介護業界においても例外ではなく、利用控えや経営の悪化により「老人福祉・介護事業」の倒産が118件（東京商工リサーチ）と過去最多を記録しています。

そういった状況を踏まえ、令和3年度4月に介護報酬改定が行われます。介護報酬全体では改定率0.70%（うち新型コロナに対応するための事例的な評価0.05%）のプラス改定と公表されています。しかし、今回の報酬改定は同じサービス事業所であっても、新しい要件である上位加算を算定できるかどうかにより、収入を2極化させる大きな改定となっております。これまでの体制を整備する段階から、実施していく段階に移行されたことで、これまで以上に厳しい加算取得の条件をクリアしていく必要があるため、制定された基準や加算条件を十分に周知し算定することで安定した経営を目指します。

人材確保において、介護報酬改定により栄養士1名の配置が必要になります。また介護職について、依然として介護関係の求人倍率が高く、育休・退職者の補充もなかなかできない状況にあります。さらに昨年度は新型コロナの影響により、企業説明会や学校訪問等がすべて中止となり、今後、新型コロナ禍、慢性的な介護人材不足と、さらに厳しい状況が続くことが予想されます。そういった中で、他業種からの未経験の人材や外国人人材を見越した、新人教育の多様化と業務内容の改善を行い、安心して働くことができる、選ばれる法人を目指します。

無資格者への認知症基礎研修が必修化になったため、順次案内をします。

開設から18年が過ぎ、施設設備等の老朽化が見られます。空調設備の改修や送迎車ラウムの代替、ユニット浴槽の更新、その他不備が予想、確認されるものから随時更新を行います。

2021年4月から同一労働同一賃金が中小企業にも適用されます。職員の理解と同意を得た上で差別化を図り、取り組んでいきます。

1. 重点事項

1) 介護保険法改正による、介護報酬改定に対応する。

2. 設備整備等

1) デイサービスの送迎車ラウムを代替予定

車検初年度登録から16年経過、走行距離約17万キロ

2) デイサービス・玄関ホール等のエアコン改修

令和3年2月15日一般競争入札にて中電工より落札

金額 37,300,000円（税抜）

工事完了予定 6月30日

3. 修繕

1) ユニット浴槽交換（すみれ・ふきのとう）

金額 1,500,000円（税抜）

さざんか・きゃらぼく、しらかば・もみじは昨年度実施済み

※新型コロナウイルスの影響で令和3年度に持ち越したため

4. 事業内容

大山やすらぎの里

特別養護老人ホーム 定員 57名

ショートステイ 定員 9名

デイサービス 定員 45名

居宅介護支援事業

地域支援事業 大山町受託事業、自主事業

大山やすらぎの里めぐみ館

地位密着型特別養護老人ホーム 定員15名

（サテライト型）

5. 地域貢献について

1) 大山やすらぎの里めぐみ館の運営

2) 各地区公民館へのお出前出張講座

3) 現在ある運動器具の活用（地域開放）

6. 福利厚生への取り組み

1) 10年勤続者 対象者6名

2) 適正な有休消化

7. 職員の資質の向上及び処遇改善について

介護サービスの質の向上と職員の処遇改善を行う。

1) 施設外研修受講の推進

2) 専門職としての知識、技術向上を図るため資格取得の奨励

3) 受講したい講習と受講させたい講習のマッチングを行い「やる気」の向上を図る。

4) 研修計画を樹立し職員が万遍なく受講できるような配慮

5) 施設内研修の充実（月1回全体研修会開催）

6) 福祉専門学校履修援助（介護福祉士資格取得）

7) 重点的な研修

①ユニットリーダー研修

②鳥取県認知症実践者研修

- ③ユニットケア全国実践者セミナー参加
- ④老施協研究大会参加（県・中国）
- ⑤認知症介護基礎研修
- 8) 介護ロボットの導入
- 9) ICTの導入による、記録の簡素化と情報共有

8. ボランティア活動の受入

社会資源の活用として、ボランティアを積極的に受け入れる。

9. 経営の安定化を図る

- 1) 入所者数（短期を含む）：利用率95%以上
- 2) デイサービス：1日当たり実利用者38名以上
中重度加算の再算定へ中重度利用者の増
- 3) 居宅介護支援：計画数の増加（介護予防含む）
 - ：30件／人 居宅介護支援計画
 - ：10件／人 介護予防居宅介護支援計画

10. 地域住民の健康増進及び大山町まちづくりへの協力

大山町受託事業、自主事業（健康クラブ）を通じて、利用者の増加を図る。

- 1) 「ふれあいの郷かあらやま」・地域（末吉・鉦戸、佐摩・中高・平木、坊領）の公民館等への出前教室
- 2) 交流センターにおいて近隣住民の健康体操の実施

11. 各種委員会について

- 1) 運営会議
- 2) ユニットリーダー会議
- 3) ユニット会議・デイサービス会議
- 4) 行事实行委員会
- 5) 研修委員会
- 6) 安全衛生委員会
- 7) 広報委員会
- 8) 苦情検討委員会
- 9) 入所選考委員会

12. 地域、ボランティア、交流について

- 1) 家族会の活動支援
- 2) 夏祭り、文化祭等を開催し地域との交流を図る。
- 3) ボランティア受入の充実
- 4) 大山西小学校、大山小学校及、大山きゃらぼく保育園、大山保育所との交

流

13. 社会福祉法人の情報公開と自己評価について

- 1) 経営情報の公開を行う
- 2) 自己評価を行う

14. その他

- 1) 広報紙「やすらぎサルビア便」の発行（毎月）
- 2) 広報紙「めぐみ館通信」の発行（隔月）
- 3) ホームページの充実 (<https://keiaikai-daisen.com/>)
- 4) Facebook の充実

令和3年度目標

【さざんか・きゃらぼく】

◆運営目標

御利用者が、安全、安心、健康に過ごしていただけるよう支援する。

◆重点目標

1. ご利用者の人権を尊重し、質の高いサービス提供をする。
2. 他職種と連携し、その人にあったケアを行う。
3. 利用者と家族の意向に沿ったケアをする。

【すみれ・ふきのとう】

◆運営目標

ご利用者が自分らしく安心して過ごせる環境を作る

◆重点目標

1. ご利用者との関わりを大切にし、思いをくみ取る。
2. 職員、ご利用者ともに信頼関係を築く。
3. 利用者個々の嗜好やニーズに合ったケアを行う。
4. 心身の状態変化にいち早く気づけるよう観察を怠らない。
5. 他職種との積極的な連携。
6. 報連相を徹底し情報提供する。

【しらかば・もみじ】

◆運営目標

御利用者の方に安心できる生活と満足していただけるようなサービスを提供する

◆重点目標

1. 心のこもった対応 ソフトな言葉遣いをする
2. 環境整備の徹底
3. 安全第一 丁寧なケアを行う

【ユニット医務】

◆運営目標

その人らしく安心して生活できるよう個別性のある看護を提供してゆく。

◆重点目標

1. フィジカルアセスメントの強化（異常の早期発見、早期対応、全身状態の把握）
2. 他職種連携を積極的に支援し、自らが連携を促進し統一したケアに繋げる。

【ユニットの相談業務】

◆運営目標

ご利用者に満足していただけるサービスの提供を他職種と協同し実現する。

◆重点目標

1. 入所申込者の拡大
2. スムーズな入所対応（5日間以内を目指します）
3. ショートステイ利用者の受け入れ拡大（97%目標達成維持します）
4. 介護保険法改正に伴い、スムーズな対応を目指します。

【栄養管理】

◆運営目標

安全で楽しみのある食事提供

◆重点目標

1. 介護士、厨房職員間の情報提供を速やかに行う。
2. ご利用者の状態に応じ、速やかに形態変更等を行う。
3. 食事会などを企画する。

【デイサービス】

◆運営目標

ご利用者が喜びを感じながら、意欲をもち、安心できる在宅生活が送れる様支援します。

◆重点目標

地域に根差した
共に楽しむ
迅速・丁寧
信用・信頼
笑顔になれる

No.1

【ケアプランセンター】

◆運営目標

- ・法改正にあたり、各種サービスが安心して利用でき、地域から信頼される事業所を目指します。
- ・新たな法人体制の下、更なる研鑽をつみ法人職員として、地域福祉の発展に誠心誠意取り組んでいく。

【大山やすらぎの里めぐみ館】

◆運営目標

1. ご利用者が自分らしく暮らせて、職員が働きやすい環境を整える。
2. 施設運営に参加する。

◆重点目標

1. パーソンセンタードケアの実践
 - 1) 尊厳・自尊心を傷つけない様、ご利用者一人ひとりに合わせた援助・支援を行う。
 - 2) ご利用者のできること、持っている力に目を向け、ご利用者の意思、その人らしく過ごせる生活支援を実践する。
 - 3) ご利用者の弱い部分を支え、その人らしさを活かせる生活を提供する。
2. 経費削減を目指す。
 - 1) エアコン、電灯など細めなスイッチオン・オフを適正に行い備品を丁寧に扱う。
 - 2) ご利用者に気持ちよく過ごして頂くことを前提として、オムツやリネン等の効率的な使用を行い、定期的な見直しを実践する。
3. 職員としての環境を整える。

- 1) 挨拶、丁寧な対応と思いやりのある言葉かけを行う。
- 2) 福祉用具を活用し、職員の腰部負担軽減、動作時の身体的負担防止及び改善をする。
- 3) 毎月チーム目標を設定し、職員全員で達成できることを目指し、毎月の達成状況を把握する。

【健康クラブ・元気アップ】

◆運営目標

感染対策を実施した上で、地域住民の健康意識向上、安心して運動できる環境づくりを目指す。

◆重点目標

1. 利用者様のニーズに合わせた指導・環境作りします。
2. 利用者様一人ひとりを大切にします。
3. 職員の技術、指導力の向上を目指します。

【機能訓練室】

◆運営目標

利用者のQOL（生活の質）向上を目指し、自分らしく生きることを支援します。

◆重点目標

1. 専門的知識技術の向上に努める。
2. 他職種と連携する。
3. 利用者のニーズに合ったリハビリをする。